広報
やまこし
1989
7月
第253号

■発行／山古志村役場　947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461　☎(0258)59－2330代　■編集／総務課　■印刷／大川印刷株式会社　■7月1日発行

シルバーパワー全開 熱戦ゲートボール大会

六月八日に山古志中学校グラウンドで、ゲートボール大会が行われました。大会名称は、「山古志村ゲートボール連盟選手権大会」（竹沢郵便局長杯争奪戦も兼ねる）各地区から選抜された一一チームが参加し、熱の入った戦いが繰り広げられました。

当日は朝から小雨の降るあいにくの天候でしたが、試合開始の午前一〇時には雨も上り、その後大会終了の夕方四時まで雨の心配はありませんでした。試合は一一チームが三コートに分かれ、リーグ戦方式で進められました。試合が進むにつれ、しだいに熱が入ってきます。ボールを打つ本人はもちろんですが、声援も興奮気味。「よし！うまい」、「アー！おしい」、「アサササー」、それぞれの期待とそれに対する結果が、声だけでわかります。

ゲートボールは、一チーム五人づつで対戦し、その総合得点で勝敗が決まります。このため個人技術とともにチームワークと作戦が重要になります。うまい人も自分だけ早くゴールするのでなく、途中で味方を導き敵の進行を妨げながら戦いを進めなくては、チームの勝利はありません。「ゴールはまだ早い、赤をみんな勝負してから！」、と味方から声がかかります。ゲートボールは見ていると簡単そうですが、なかなか味のある奥の深いゲームなのです。

朝一〇時から夕方四時まで、昼食休みの一時間を除き、休みなく熱戦が続けられ、結果は優勝竹沢B、二位竹沢A、三位竹沢Cチームでした。

人口の動き
（1.5.31現在）

■人口 3,064人（－6）　男 1,547・女 1,517　■世帯数 817（＋1）
■5月中のうごき　□出生 2　□死亡 6　□転入 4　□転出 6

お知らせ

夏の交通事故防止運動

7月21日～8月20日

危険です！ 寝不足 追い越し 飛ばし過ぎ

夏の交通事故防止運動が実施されます。この運動は、夏の暑さによる疲労、学校からの解放、帰省やレジャー交通の増加等による交通事故の多発が予想されることから、県民総ぐるみで交通安全運動を展開し、正しい交通ルールとマナーの実践により、夏季における交通事故の防止を図ることを目的として行われるものです。

長岡警察署管内の重点運動事項は、「交差点での安全確認、一時停止の励行」と「カーブ手前での減速走行の徹底」です。

交通事故は、「絶対に起こさないようあわないよう」お互いに気をつけましょう。

高額療養費限度額引き上げ

六月一日から、高額療養費の自己負担限度額が、引き上げられます。今までの五四、〇〇〇円（住民税非課税世帯は三〇、〇〇〇円）が五七、〇〇〇円（同三二、八〇〇円）となります。

▲高額療養費の制度とは

国保で診療を受ける場合、被保険者は医療費の三〇％を負担するだけですみます。しかし最近は、医学の進歩に伴って高度の医療技術が開発され、高額の医療費を必要とする場合が多くなっています。三〇％を負担するだけといっても、その額は大きくなり、個人で負担することが困難な場合があります。

このような場合に対処するため、自己負担の限度額を定め、それ以上の医療費は国保が負担することになっています。これが高額療養費の制度です。

詳しくは、山古志村国民健康保険から各戸にパンフレットが配られますからご覧ください。

サマージャンボ宝くじ まもなく予約受付

サマージャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）の予約が、七月一七日から受け付けられます。予約申込先は、全国の宝くじ売場か第一勧業銀行宝くじ部（〒100東京都中央郵便局留置）へ往復ハガキでどうぞ。

申込方法等詳しくは、七月二七日の新聞に発表されます。

7月の 納.税.保険料

★固定資産税（2　期）
★国民健康保険料（7月分）
★国民年金保険料（7月分）
★保　育　料（7月分）

克雪住宅づくり資金貸付中

昨年から村が貸し付けを始めた「克雪住宅づくり資金」。今年も貸し付けを行っています。

これは村内に、落雪式や高床式等の克雪住宅を建築しようとする人や、屋根を改良しようとする人に対し、その資金の一部を貸し付ける制度です。希望者はお申し込みください。

〈貸付対象者〉
・山古志村に住所を有する人、または建築後その住宅に居住する見込みの人。
・貸付金の償還能力があり、村税等を完納している人。

〈貸付対象住宅〉
①融雪式　②落雪式　③高床式　④耐雪式　この四方式のいずれか、または組み合わせで建築される住宅。

〈貸付限度額〉
五〇万円以上二〇〇万円以内。

〈貸付利率〉
年利四・二五％（五年間は村で一・二五％の利子補給をしますので実質三％です）

〈償還期間〉
一〇年以内

※お申し込み・お問い合わせは、役場総務課か農協・漁協へどうぞ。

交通事故のご相談はお気軽にどうぞ！

無料でご相談に応じております

ご相談に応じます。

●弁護士相談日
毎週水曜日　午後一時～四時

●午前九時三〇分～午後四時四〇分（平日）
●土曜日は正午まで（第二第三土曜日は休みます）
●専門の相談員が、親身になってご相談に応じます。

社団法人・日本損害保険協会新潟自動車保険請求相談センター
新潟市本町通七番町一〇八二
興亜火災新潟支店ビル五階
新潟調査事務所内
☎〇二五－二二五－一八五一
〇二五－二二五－二二二五
※電話でのご相談も、お受けいたします。

参議院議員通常選挙のお知らせ

7月23日(日) 投票日

第一五回参議院議員通常選挙が、七月五日（水）に公示され、二三日（日）が投票日となります。棄権せずに投票を行ってください。

不在者投票の手続・方法等は六月に行われた二つの選挙と同じです。七月五日から二二日まで、不在者投票ができます。

この選挙は、みなさまご存じのとおり、「選挙区選挙」と「比例代表選挙」とからなっております。したがって、投票用紙が二枚配布され、二回投票していただくことになります。

選挙区選挙は、黄色の投票用紙が渡されますから、これに候補者個人名を記載し、投票してください。比例代表選挙は、白色の投票用紙が渡されます。これに名簿届出政党の名称（または略称）を記載し、投票してください。

記載誤りによって、貴重な一票が無駄にならないよう、慎重に投票を行ってください。

知事選・参議院補選結果

今年の六月は、二つの選挙が行われました。四日が投票日となった新潟県知事選挙は、三人の立候補者で争われ、前副知事の金子清さんが当選。同じく二五日が投票日となった参議院新潟県選出議員補欠選挙も、立候補者三人で争われ、女性候補の大渕絹子さんが当選されました。

山古志村での各候補者の得票数は、次のとおりです。

▣新潟県知事選挙（投票率86・37%）
- 金子　清　二、四七八票
- 志苫　裕　五〇六票
- 長崎　明　四二票

◎参議院新潟県選出議員補欠選挙（投票率78・51%）
- 君　英夫　二、二九一票
- 大渕絹子　五〇八票
- 村田一男　一三票

監査委員に樺沢松雄さん

山古志村監査委員に、樺沢松雄さん（種苧原）が選任されました。樺沢さんは、監査委員二期目となります。

献血功労者表彰

移動採血車「ゆうあい号」が来村するたび、常に一〇〇人前後の人たちから献血にご協力をいただいております。このことについて、改めてみなさまにお礼を申し上げます。

このたび、次の五人の人が献血功労者として、日本赤十字社有功章「日本赤十字社有功章」を贈られました。みなさんはいずれも、献血回数二〇回以上です。

■有功章受賞者（敬称略）

・米岡祐三（種苧原・33回）

・高橋武俊（竹沢・33回）

・佐藤丈平（虫亀・31回）

・星野清剛（竹沢・31回）

・草間頼雄（種苧原・31回）

国民健康保険運営協議会委員

六月に、新しい「山古志村国民健康保険運営協議会委員」が決まりました。この協議会は、国民健康保険特別会計の事業、予算や、保険料率の改訂等に関して、協議していただく機関です。委員の任期は二年です。

▲会長　山口博（種苧原）
- 委員　小川惣右ェ門（種苧原）
- 〃　松田義太郎（虫亀）
- 〃　松井靖博（東竹沢・木篭）
- 〃　佐藤良司（診療所医師）
- 〃　星野勝美（　〃　）

（敬称略）

にいがたのふる里展へ出展

▲山古志村の展示即売コーナー

今年三回目となる「にいがたのふる里展」が、六月一五日から二〇日にかけ、新潟市の伊勢丹デパートで行われました。これは農山村と都市の交流で、相互理解を深めようという目的で行われたもので、山古志村も参加いたしました。

主な内容は、参加市町村(五八)がそれぞれ自慢の特産品や市町村紹介のパンフレットを持ち寄り、各市町村ごとのコーナーでその特産品の販売やパンフレットの配布を行うものです。その他、竹細工やワラ細工等の実演も行われました。

山古志村は特産品として、「こくしょう・こいこくの缶詰」、「鯉の甘露煮」、「木牛」、「ゾウリ・雪グツ・宝船等のワラ細工」などを展示・販売しました。

実演は、「楢木・畔上定吉さんのむしろ織りと坂牧産業課長のワラゾウリ作り」を披露し好評を得たようです。また、山古志村からのプレゼントとして、「村の花」ハギのポット入り苗二〇〇個をお客さんに配り、喜ばれました。

▲実演コーナでお客さんになわないの手ほどき

参加市町村のコーナーを見ると上越から下越、そして佐渡と新潟県は広く、このため多種多様な特産品があり驚くほどです。そして同時に参加市町村はみな、同じように特産品の開発に傾注し、これを地域活性化の重要な柱と位置づけているようにも思われます。

狭い山古志村で、錦鯉と闘牛の名におんぶしつづけていては、「井の中のかわず」になるのでは、と多少危惧の念も抱かれました。このふる里展を見て、山古志村以上に他市町村も頑張っている（同じ悩みを持っている）ということが改めて感じられました。

公開講座に参加しませんか

国立長岡工業高等専門学校では、七月から八月にかけ次の三つの公開講座を開きます。希望者はお申し込みください。

■パソコン表計算入門
- 小・中学校の教員（初心者）
- 八月七日～一一日

■楽しい化学実験
- 中学生
- 七月二八日～三〇日

■ステレオ写真のすすめ
- 一般（小学校高学年以上）
- 七月二二・二三日、二九・三〇日

受講料は、いずれの講座も四、一二〇円です。募集定員は四〇人。申込期限は、パソコンが七月二九日まで、化学が七月二一日まで、ステレオが七月一四日までです。申込方法について詳しくは、役場広報係にお問い合わせください。

悪質商法にご用心

最近いろいろな悪質商法が出回っています。「あなたのスキをねらう〝悪質商法〟」にだまされないよう、ご用心ください。

警察では、悪質商法についての相談窓口を設けています。おかしいと思ったときは、お近くの警察署、駐在所へどうぞ。

◎悪質セールスマン撃退一〇ヵ条

①何の用?……しっかり聞こう身分と用件
②おかしいと……、思ったときはドアしめて
③もうかります……そんな言葉にご用心
④あやしいぞ……人のふところ聞く業者
⑤勇気出し……はっきり言おういりません。
⑥しつこいな……そんな相手は一一〇番
⑦迷ったら……一人で悩まずまず相談
⑧サインして……あとでしまったもう遅い
⑨契約は……してもお金はあとばらい
⑩あなたです!……自分の財産守るのは

夢を運ぶ 錦鯉ゆうパック

6月1日盛大に出発式

特産の泳ぐ宝石錦鯉が、郵便局の「錦鯉ゆうパック」で、毎日全国各地に発送されています。村の主要産業であり、対外的には村のイメージともなっている錦鯉。しかし、最近はやや業界が不振のため、生産者・関係機関が一体となり、各種振興対策を検討・実施しています。この中で、昨年から漁協青年部が発足し、生産者の横のつながりが強まり、錦鯉の広範・大量の注文にも応じられる体制が整いました。

これを契機に「竹沢郵便局」から「錦鯉ゆうパック」をどうか、との話があり、昨年秋に「竹沢郵便局の錦鯉パック」が開始されました。（二歳五尾入六、五〇〇円と当歳二〇尾入五、〇〇〇円）

これが好評を得たため、今年はさらに「信越郵政局」に陳情を行い、錦鯉パックを信越郵政局の施策に取り上げてもらい、推奨パックとして売り出すことになったものです。内容はより手ごろな価格にと、当歳（二〇～一五㎝）五尾入りで二九〇〇円とこれに飼育水槽一式を付けたもの七、九〇〇円の二種類があります。

六月一日に、この「錦鯉ゆうパック」の出発式が、漁協前で盛大に行われました。まずテープカットの後、錦鯉パック約五〇〇個を積んだトラックが拍手に送られ出発。その後信越郵政局から、「六、七、八月の三ヶ月間に重点的に売りたい」との力強いあいさつがありました。この錦鯉パックは、信越郵政局施策ということで新潟・長野県が中心となりますが、パンフレットは福井・三重県から北は青森県まで、広く配布されます。目標は、一万パックということです。

申し込み開始後の六月上旬に申し込み先の漁協を訪ねたら、来る電話は全て錦鯉パックの問い合わせ。職員はこの対応に手いっぱいで、他の仕事は手につかない状態でした。

泳ぐ宝石という形容詞が、きれいというより高価という方に考えられすぎているのか、一般的にはいぜん「錦鯉は高いもの」というイメージが強いようです。錦鯉パックにより、「錦鯉は誰でもどこでも飼えるもの」、というイメージが定着し、愛好者の底辺が拡大することを期待したいものです。

▲ 出発式のテープカット

ご存じですか カキドオシ

六月上旬、山中の小川勝行さんのお宅の庭に、薬草らしきものが干してありました。奥さんにお聞きしたところ、名前は「カキドオシ」といい、煎じて飲むと糖尿病に効果があり、また肝臓にもよいとのお話でした。奥さんがわざわざ草やぶの中から二三本見つけてくださいましたので、これを見て探してみたら、村内にはかなりあるようです。

薬草の本によると、名前はやはりカキドオシ。多年草で茎は四角く、三〇㎝位直上後つる状にはえ、節から根を出して繁殖する。シソ科で日本全土の日のあたる野原、土手などに生える。花は四～五月ごろ咲き淡紫色。葉は対生、丸い心臓形。薬用部は全草。採取時期は花期。水洗い日干し後、陰干しして保存。効用は浴料とする。煎服は利尿作用がある。と書いてありました。

親子サマーキャンプ

・七月二九日(土)～三〇日(日)
・川口町中山キャンプ場

寄席

―老人大学で―

三和亭 鬼瓦さん 落語を語る

毎年、公民館主催による老人大学が、年四回開かれています。今年の第一回老人大学は、「三和亭鬼瓦」師匠の山古志寄席を中心にした、「落語を聞く」と題して開かれました。老人大学は、村内五つある公民館分館単位でそれぞれ開かれるため、鬼瓦師匠は大忙し。六月中旬から六月いっぱい、羽織・袴に扇子をたずさえ、村内を飛び回られました。

六月三〇日、最後となる東竹沢の老人大学は、東竹沢小学校の図書室に臨時高座が設けられ、「三和亭鬼瓦・山古志寄席」が上演されました。参加者は、約四〇人。老人大学ですから、やはりお年寄りの人たちだけです。前座がいないため、いきなり真打・鬼瓦師匠の登場です。「みなさんは、多くの年輪・人生のしわを持っておられますが、今日はおおいに笑ってこのしわを何本か伸ばし、家に帰ったらお孫さんから若くなった、と言われるようにしてください」、というような前口上から、いよいよ本番です。演題は「長短」。内容は、短吉という気の短い江戸っ子と、長吉という気の長い男のやりとりを演じるものです。正反対の二人を一人で演じるわけですから、表情もそれなりに変わります。これに話し方がマッチし、短吉と長吉が生き生きと演じられます。圧巻は、ようかんを食べるところです。そのしぐさ、口の動かし方を見ると、とても「素人ですから」との言葉が信じられません。約三〇分で一本を語り終えられましたが、アンコールに応えさらにもう二本「火炎太鼓」と「寝床」を語られました。山古志村の人たちは内向的なせいか、大きな声では笑いませんが、みなさんにこやかに楽しそうに聞き入っておられました。

「三和亭鬼瓦」師匠のご紹介をします。本職は池谷小学校の校長先生で、本名は保坂邦夫さん。芸名の由来は、若い時の草相撲のしこ名「鬼瓦」と出身地三和村の「三和」をとって、「三和亭鬼瓦」とされたそうです。落語を始められたきっかけは、岐阜のある地区で小学生・中学生・大人と、地区を挙げて落語を中心に活動を続けているところがある、と知ったことからだそうです。そして、数年前松之山町にいた時、山の中のおとなしい子供たちの表現力を伸ばそうと落語を教材に使おうとしたのを契機に、本格化したものです。その後の転任校では、いずれも落語クラブを作ってきたそうです。

「最初おどおどしていた子供が、生き生きしてきましてね」と。「そして、明かるく活発になり、物もハキハキ言うようになる」とも。しかし、教える以上は、自分も覚えなくてはと、落語カセットはすでに数十本買い集め、上京すれば必ず寄席をのぞいた、という努力を重ねてこられた「三和亭鬼瓦」さんです。

最後に、「かなり場数は踏んでいても、やはり最初は緊張します。そして、落語を語っていて、笑って欲しい時に笑ってくれない、ここが一番難かしい」と話しておられました。ちなみに今回の老人大学での観客動員数は、約三〇〇人です。村民みんなが聞ける寄席を、ぜひ設けて欲しいものです。

ふるさと創生アンケート 集計結果

先般、村民のみなさまに「ふるさと創生」アンケートをお願いしました。この集計結果がまとまりましたので概略をお知らせします。

回答者数は、一八五人。同一回答者がいくつもの提案をした場合は、それぞれ一つとして数えてありますので、提案数は五七七となっています。

※（一）内は提案数

①観光施設等の整備　（二四五）
スキー場、自然公園、遊園地、ゴルフ場、保養施設等の建設。スーパー、星空観察ドーム、多目的ビルの建設。空家の有効利用、道路整備　その他。

②健康づくり　（五四）
総合体育館、病院の建設。高齢者集団農園の設置。

③新規イベントの開催　（五二）
雪上盆踊大会、鯉のつかみどり、田植えや稲刈りツアー等。

④福祉関係　（三六）
高齢者集合住宅の建設、雪降しの助成。巡回入浴車の購入、その他各種福祉サービスの実施。

⑤地場産業の振興　（二四）
工場誘致、錦鯉の販路拡大。ふるさと宅配便で村の宣伝を等。

⑥人材の育成　（二三）
基金を設け、奨学資金・各種研修資金等に援助する。

⑦伝統文化の継承　（二二）
民俗資料館、闘牛場の整備、闘牛の充実、伝統芸能の継承。

⑧特産品の開発　（一五）
錦鯉や闘牛に関する土産品の開発。伝統料理等の活用。

⑨生涯学習の推進　（八）
図書館、生涯学習センターの設置。

⑩各種交流の推進　（八）
姉妹村づくりや農業・文化等の交流。イベントを通じての交流や外国との交換留学。

⑪その他　（八八）
各地区に均等に配分する。株・宝くじ・ダイヤ等を買う。専門委員会を設け、使途を検討する。

緑の中 気分いいな、モー

村営萱峠牧場の放牧が始まりました。雪消えの早かった今春ですが、例年どおり六月一日に、二十七頭がいっせいに放牧されました。

当日は晴天に恵まれた中、放牧牛所有者を中心に畜産関係者が全員集まって、放牧作業を行いました。各牛舎から牛を運搬する人、運んだ牛の体重等を測定する人、採血検査をする人、とそれぞれが手分けして作業が進められました。朝早くから始められた作業は、午前中にほぼ終了。牛たちは緑一色の牧場に放され、元気に飛び回っていました。

◀かわいい仔牛も放牧されます

放牧された牛は、親子牛が一組、繁殖雌牛が四頭、種雄牛が一頭の計二七頭です。

最近は素牛高等から、畜産農家の繁殖気運が高まっており、萱峠牧場は村の繁殖牛基地として重要性が高まってきています。放牧者からも「種雄牛が導入されてからは、秋まで放牧しておけば、ほぼ百%受胎する」と、牧場の利用価値が評価されています。

―普及所から― 農政コーナー

稲・中後期の管理について

現在、稲の生育は順調で、草丈はやや短かめですが、茎数は平年並に確保されているようです。

●水管理

出穂の一ヵ月前（コシヒカリで七月二〇日頃）は、穂が稲の体内でできてくる時期です。これから一ヵ月の出穂までの間は、稲が一番水を必要とする重要な時期なので、細かい水管理がかかせません。気温も高くなってきていますので、田に水をためっぱなしにしておくと、根の老化が早まります。そこで水をためたり落としたりをくり返す、間断灌水（田にひびが入らない程度に時々干す）を行い、根の健全化をはかってください。

●追肥

（つなぎ肥）

出穂二五日前頃（七月上旬）に、ケイ酸加里を一〇アールあたり二〇～四〇kg施します。これにより、この時期の根を健全に保つことができます。

（穂肥）

今年の幼穂形成期は、平年並の見込みです。茎数の多少、葉の色等を参考に、穂肥の時期・量を決めます。稲の生育を見ながら二回に分けて施すとよいでしょう。一回目はコシヒカリで出穂一八日前、トドロキワセでは二三日前がめやすです。二回目は出穂一〇日前を考えて施します。山古志村の平年の出穂日は、コシヒカリ八月一二日、トドロキワセ八月二日がおよそのめやすとなるでしょう。また、施肥量は、チッソ成分で一～二kg程度を一回分と考え、加里肥料とあわせて施すとよいでしょう。ただし、できすぎて倒伏が心配される場合は、チッソ量をひかえめにしてください。

●病害虫防除

（カメムシ対策）

水田に隣接する農道や畦畔の雑草は、七月二〇日頃までに刈り終える。

（イモチ病対策）

補植用苗は、すみやかに田の外に出してください。また、葉イモチが見つかったら、ただちに防除を行ってください。穂イモチ対策は、予防散布が基本です。出穂直前と穂が出揃った頃に、粉剤を二回散布するか、またはコラトップ粒剤を一〇アールあたり四kg七月二五日頃散布してください。

果菜類の手入れ

〈適切な追肥が長持ちの秘訣〉

五月に定植された果菜類もそろそろ元気を出し、収穫が待ちどおしくなっていることと思います。果菜類の多くは、果実をつけながら生育していきます。追肥でそのバランスを調整しましょう。

追肥は二五～二〇日おきに定期的に行い、肥切れ状態にならないように注意しましょう。追肥量は、化成肥料一握りで三株に施用する程度にします。最初はうねの片に追肥し、除草を兼ねて肥料がよく混ざるように中耕・土寄せを行います。その後はうねの間に追肥し、野菜の根を切らないように注意して、軽く耕しておきましょう。

梅雨時期に入りこれからの野菜の栽培管理は、湿度対策と病害虫防除が重要なポイントになります。中耕・土寄せで排水をよくし、敷ワラ等で泥の跳ねあがり（病害のもと）を防ぎましょう。病害虫防除は、予防がかんじんです。長雨が続くときは、晴れ間を見て予防散布につとめましょう。

米は全量 指定集荷業者へ

農家のみなさん、県及び食糧事務所では、集荷団体とともに米の不正規流通防止運動を展開しています。

・収穫した米は、全量を指定集荷業者に出荷してください。

・無資格の集荷業者に米を売り渡すことは、食糧管理法で禁じられています。

・農林水産大臣の指定を受けないで米を集荷したり、知事の許可を受けないで米を販売することは、食糧管理法で禁じられています。

・消費者の信頼を損なわないためにも、米は決められたルートで流通させましょう。

教育長杯 野球大会 イーグルスが優勝

五月二二日から二五日にかけ、ナイター・トーナメントで教育長杯野球大会が行われました。

参加六チームで戦われ、優勝したのは東竹沢のイーグルスでした。

県史刊行 頒布中

新潟県が立県百年の記念事業として、昭和五一年度から編さんを進めている「新潟県史」は、順次刊行を続け、いよいよ最終段階を迎えています。

領布価格等は次のとおりです。希望者は、お申し込みください。

●別編一（年表索引）三、七〇〇円
●別編二資料所在目録四、四〇〇円
●通史編一～九　三、六〇〇～三、七〇〇円
●史料編一～二四　三、六〇〇～五、五〇〇円
●別編三人物編　四、八〇〇円（分売可・送料別）

※申し込み、問い合わせ先
〒950 新潟市新光町四―一
新潟県総務部県史編さん室
☎〇二五―二八五―五五一一

行方不明の人を捜す相談所開設

警察では、八月中一ヵ月間「行方不明の人を捜す相談所」を、次のとおり開きます。相談は無料です。

■巡回相談所（午前九時から午後五時まで）
八月七日（月）長岡警察署（☎三二―二二一）

■常設相談所（午前九時から午後五時まで第一・第三土曜日は午前中）
八月中（ただし、日曜日、第二・第四土曜日と二・四・七・九日を除く）県警察本部鑑識課（新潟市新光町四―一☎〇二五―二二一）

水難事故にご用心

六月一日から八月三一日までの三ヵ月間、全国一斉に「水難事故防止運動」が行われます。

毎年、多くの命が、水の事故により失われています。中でも特に子供の事故が目立っています。昨年、県内の子供の水難事故死は二人です。

山古志村は錦鯉の養殖池が、子供の活動範囲にいくらでもあります。幼児や小さい子供のいる家庭では、看視や注意を怠ることなく、水難事故にご用心ください。

―二八四―三三一、内線二五―二二）

役場人事異動

住民課保健衛生係長の藤井薫さんが、六月三〇日付で退職されました。後任係長は、同係主査の草間頼雄が昇格しました。

歳時記 うなぎ

土用の丑の日にうなぎを食べると夏負けしないと言われ、この日はうなぎ屋の書き入れ時。「うなぎといえば、昔は夏のものだったが、最近は季節感がなくなった」とは、あるうなぎ屋さんの話。天然うなぎは冬はとれないが、最近は養殖、輸入、冷凍技術の発達などで、一年中うなぎが食べられるというわけです。

日本で食べているうなぎの半分以上が、台湾、韓国、中国から輸入したもので、生きているのをそのまま運んでくる場合もありますが、蒲焼きにして冷凍したものが多いそうです。

ところで、うなぎを割くには腹から？　背から？　さて、どちらでしょう。一般に関東は背開き、関西は腹開きと言われています。また、焼き方も関東は蒸してから焼き、関西は蒸さないで焼くようです。

では境はどこ？　と言ってももちろんはっきりはしません。試みに、関東と関西のほぼ中間にある、東名高速道路の浜名湖サービスエリアのうなぎの割き方を聞いてみたところ、〝背開きして蒸さないで焼く〟と東西の折衷でした。

蒲焼きにして輸入する場合も、販路によって焼き方に注文をつけているようです。

いずれにしても、夏負けしない体力づくりを心がけたいものですが、海のレジャーもその一つです。七月二十日は海の記念日、そして三十一日までが「海の旬間」で、「海にひらこうわれらの未来」をテーマに、各地でマリンフェスティバルなどの行事が行われます。また、主要港湾都市が持ち回りで開く「海の祭典」は、今年は横浜です。折から開催中の横浜博覧会の会場でも、記念行事があります。